

東洋英和女学院大学大学院

2015年度前期入学試験

秋季選抜 問題

人間科学研究科 修士課程

(臨床心理学専攻)

専門分野

I. いわゆる「触媒」としてのカウンセラーの役割について論ぜよ。

II. 以下の術語を説明せよ。

- 1) 平等に漂う注意
- 2) 禁欲規則
- 3) 集合的無意識
- 4) 抵抗
- 5) 行動化

Ⅲ. 以下の項目について、それぞれ 200 字程度で説明せよ。

1) 精神分析

2) 分析心理学

3) プリーフセラピー

4) 催眠

5) エビデンスベースド・アプローチ

Ⅳ. 次の事例を読んで、問題に答えよ。

事例

Aさんは、20歳代後半の会社員の男性である。厳格な両親に育てられ、幼少時から物静かで地元の進学校を経て大学卒業し、最近まで何ら問題が無かったという。

大学卒業後にそのまま就職して営業職として数年間仕事を続けてきた。上司は、Aさんの仕事ぶりを評価しており、Aさんがより良い成果を出せるように事細かに指示を出し、それにAさんが応えてきた。

ある日のことAさんは、営業先で顧客と打ち合わせていたときに、目の前の客が急に怒り出すのではないかと想像して強い恐怖と不安を感じた。その場では、何とか打合せを終えたが、その日を境に、目の前の人から急に怒られるのではないかと考えると、胸の周りに違和感を感じて呼吸が浅くなり、仕事に向かおうとしても気持ちが向かわない感じが増していった。また奇妙な夢を見るようになって目覚めが悪くなった。

人からどのように思われるのかと考えると、このことを誰にも相談できず、意を決して心療内科クリニックを受診した。

事例に関する問題に解答をする際の注意：各々の理論的立場で解答する場合に、事例についての理解を促し支援の方針を立てやすくするために必要情報があればどんな情報があると良いかを具体的に明記すること。

問1 精神力動の立場からの理解と支援の方針について 400字以内で述べよ。

問2 認知行動療法の立場からの理解と支援の方針について 400字以内で述べよ。

問3 解答者が心理学的介入(心理療法)の理論的立場を決め、その立場を解答用紙にある()内に記し、その後、その立場からの理解と支援の方針について 400字以内で述べよ。ただし問1と問2とは別の理論的立場の説明をすること。